

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Vancouver International College

Gastown Business College

留学期間 : 平成 28 年 3 月 24 日 ~ 平成 28 年 12 月 22 日

3 カ月間、カナダの語学学校へ行き、6 カ月間ビジネス学校に通いました。

はじめの語学学校では友達を作ることと自分の英語力を上げることが目標でした。学校には韓国人・ブラジル人・メキシコ人・日本人がおり、沢山の友達を作ることが出来ました。日々の宿題に真剣に取り組み、日常生活内で習った文法や単語を使う様に努力しました。

そして、次のビジネス学校では、3 カ月間の座学と3 カ月間のインターンシップがありました。

最初の座学期間では、マーケティングや履歴書の書き方などカナダの働き方について学びました。週に1 度個人やグループでのプレゼンテーションがあり、また月に1 度 デイバートがありました。私はプレゼンテーションやデイバートの経験がクラスメイトよりも少なかった為、クラスメイトの良い所をマネしながら上手に出来る様に練習しました。はじめはスクリプトを読むことで精一杯だった私が、最後のプレゼンテーションでは、スクリプトを使わずプレゼン出来るくらいまで成長することが出来ました。

その後3 カ月間のインターンシップをカナダの航空会社である WestJet で行いました。最初の2 週間はお客様の質問を受けても答えが明確に分からず、カナダ人のスタッフの方に毎回聞いて少しでも早く受け答え出来る様に努力致しました。毎日沢山の客様と出会える為、自分の英語力を向上させるべく、出来るだけお客様と Small Talk をする様に心掛けました。語学学校やビジネス学校に通うとカナダ人と出会える機会は少ないですが、このインターンシップではカナダの会社という事もあり、沢山のカナダ人に出会い、友達を作る事が出来ました。留学生にとって現地の友達を作るのは少し難しい事ですが、沢山の方と出会える機会がありとても充実した日々を過ごす事が出来ました。

しかし、初めの1 カ月間は私にとってとても大変なものでした。毎朝時差ボケで4 時に起き、まだ暗い部屋の中でこれから9 カ月間頑張ってやっていけるのかとても不安で一杯でした。中々言いたい事が言えず、何を言っているのか分からない時もあり、このままカナダで暮らしても自分は変わらないのではないかと悩みました。そんな時に心を軽くしてくれたのはホストマザーでした。ホームシックになっている事を彼女に相談した際に、彼女はとても心配してくれ、もし悲しい時はいつでも言ってくればお話ししたりゲームをしたりしようと言ってくれました。その言葉を聞き、もっと気楽に頑張ればいいのかと思えるようになりました。彼女がいなければきっと予定を変え日本に早く帰っていたと思います。だから彼女にはとても感謝しています。

その後語学学校を卒業し、新しいチャレンジをと思い、ビジネス学校までの休みの5 日間を使いハワイに1 人で旅行に行きました。1 人で旅行に行くことは初めてで、ハワイに行くことも初めてだった為、1 人で全て出来るのか不安ではありましたが、私にとってこの旅行はとても素晴らしい旅行になりました。1 人だけ

からこそ大変なこともありましたが、お店で順番待ちをしている間に会った人とランチを食べに行って家族や友達といれば体験できない経験をすることが出来、のんびりと自由に休暇を楽しみました。

そして、ビジネス学校では私のカナダ生活を楽しいものに変えてくれた最高の友達に出会うことが出来ました。それまでは居心地の良い日本人の友達と出かけることが多かったのですが、ビジネス学校に行き始めてからは仲良くなった韓国人の友達と毎週のように遊ぶようになりました。日本語を使う時間が少なくなるにつれ、英語を話す機会が増え、それまでよりも素早く英語で考えられるようになった気がしました。今までは自分が英語を話して友達と笑いあったり、友達の相談に乗るなんて想像もしていませんでした。しかし知らない間に友達といろんな話が出来る様になっていて、少しずつでも成長出来ているのだと感じ、とても嬉しくなりました。信頼でき、一緒にいると楽しい友達に巡り会えたことが、この留学で得た最高の宝物と言っても過言ではありません。

この9か月間は私の人生の中で1番色んなことに挑戦した日々となりました。元々新しいことに挑戦することが苦手だった為、最初は何も知らない世界に慣れずこのまま新しい世界に慣れることが出来るのか不安で一杯でした。しかしそれを乗り越えたからこそ、楽しい日々を過ごす事が出来、さらに最高の友達に出会える事が出来たのだと思います。もしあの時諦めていたら、きっとあのまま一生挑戦することから逃げる道を選んでいたと思います。ですので、自分を見つめ直し 変える機会をくれた両親にとっても感謝しています。

将来、空港でグランドスタッフとして働きたいと考えている為、このままの英語力で満足することなくこれからも勉強を続けて行きたいと考えています。そして、英語だけでなく今まで勉強してきた中国語や韓国語も英語と同じように話せる様に、頑張って勉強していきたいと思っています。